

ネットワークセールスが
プロサッカークラブの
ビジネススクールに参加してみたら
JANOGスタッフとの親和性を
感じたことを呟いてみる

株式会社オキッ

園木 隆弘



アジェンダ

- ・自己紹介
- ・GBAとは？
- ・なぜGBAを受講しようと思ったの？
- ・GBAでどんなことを学んだ？
- ・どんなイベントを企画し実施したかの？
- ・JANOGとの関係性は？
- ・まとめ



名前 : 園木 隆弘(そのぎ たかひろ)

年齢 : 44歳

家族 : 妻、長女(11歳)、長男(9歳)

血液型 : O型(よくA型と間違われる)

星座 : 夢見る乙女座

趣味 : サッカー/フットサル

(ガンバ大阪をこよなく愛する)

ガンオタ(基本宇宙世紀もの、

赤いのとか水陸両用とか)

JANOG

と私 : 初参加はJANOG37の名古屋

JANOG42でOrg Chair

GBAとは？



GBAとは

ガンバ大阪サッカービジネスアカデミーの略でJリーグのガンバ大阪がこれまでのノウハウと専用スタジアムを活用してスポーツ界の将来を担うビジネス人材を育成するアカデミーです。

なぜGBAを
受講しようと思ったの？



もともとスポーツビジネスに興味があり
今回は自分が大好きなガンバ大阪が開催していて
スポンサーの獲得や集客イベントの企画など
今後の自分自身のビジネスに
活かせることがあるのではと応募



GBAでどんなことを学んだ？



大きくはスポーツビジネスの座学と実施企画の2つ Webで座学を学びながらイベントを企画する流れ

知る

導入期・インプット期

- ・サッカービジネス基礎の習得
- ・社会課題の把握
- ・ガンバ大阪OBの講義等

考える

企画期

- ・スポーツビジネス事例等の理解
- ・実施企画検討
- 「スタジアム集客企画」
- 「パートナー及び地域共創によるSDGs企画」

アウトプット

実施期

- ・実施企画最終プレゼン
- ・企画実施による実体験
- ・実施報告会

グループワーク・プレゼンテーション・フィールドワーク

互いに高めあう

座学の中で特に印象に残ったのが
小国さん (元NHKディレクター)の
スポーツ×共創というテーマで

「誰もが「止まりたくなる”指”」を作ることが
スポーツに限らず、社会課題に関しても
人々が注目して参加したくなる内容

みんなで「笑える革命」を起こそう

注文を間違える料理店/世界一暗いスタジアム...etc

どんなイベントを企画し
実施したかの？



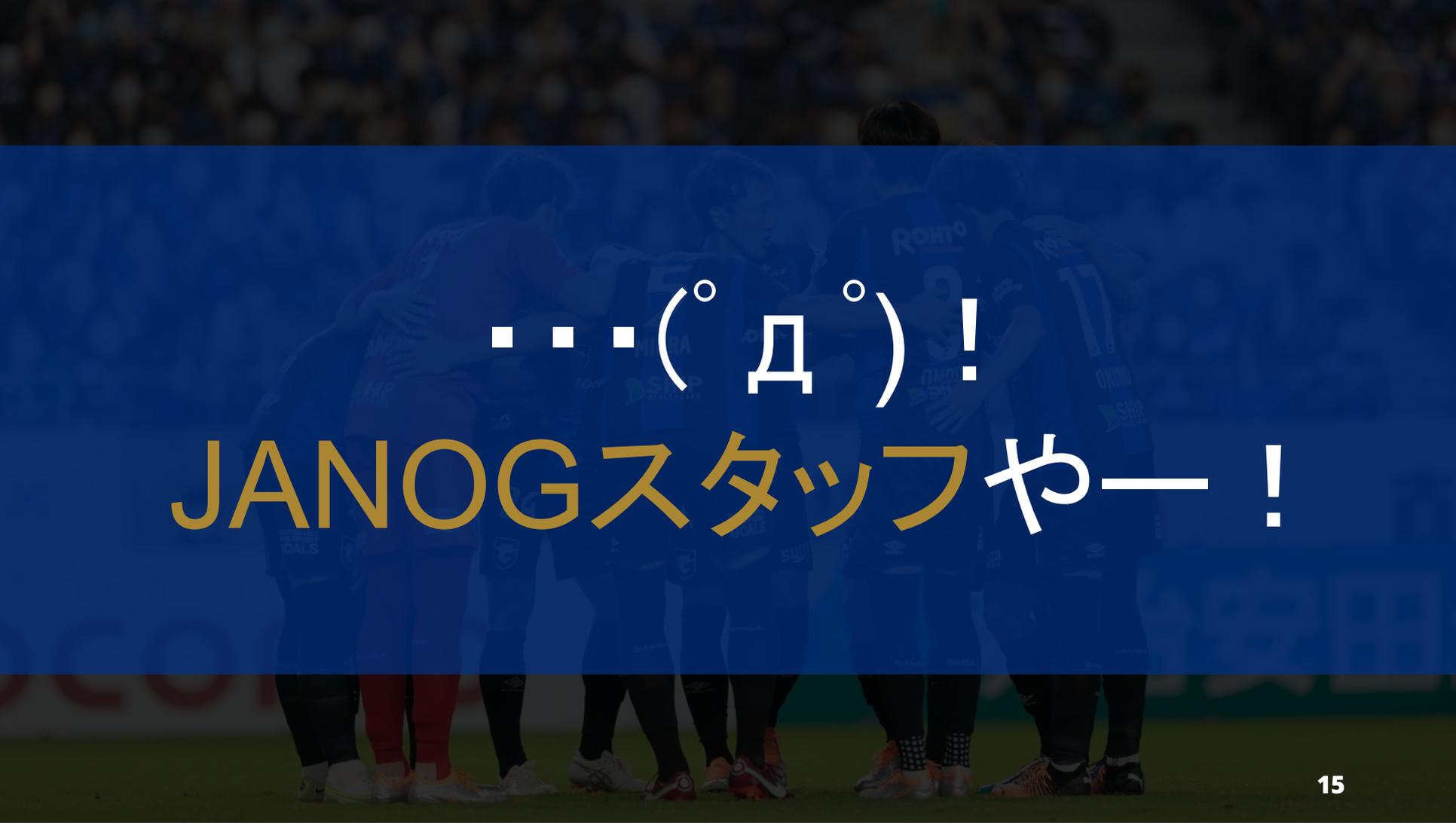
実施企画は集客2チームとSDGs2チームの計4チーム
園木は集客team『Z6』のメンバーとして
Z世代女子向けのイベントを日本で初めて
スタジアムのVIPラウンジで
アフタヌーンティーをしながら
試合観戦を企画しました。



と、前置きが
長くなりましたが



GBAでのコミュニケーションは
基本Slackベースで
打合せは通常業務が終わった夜から
...?
あれ？これって何かに似てない？



…(°Д°)!

JANOGGスタッフやー！

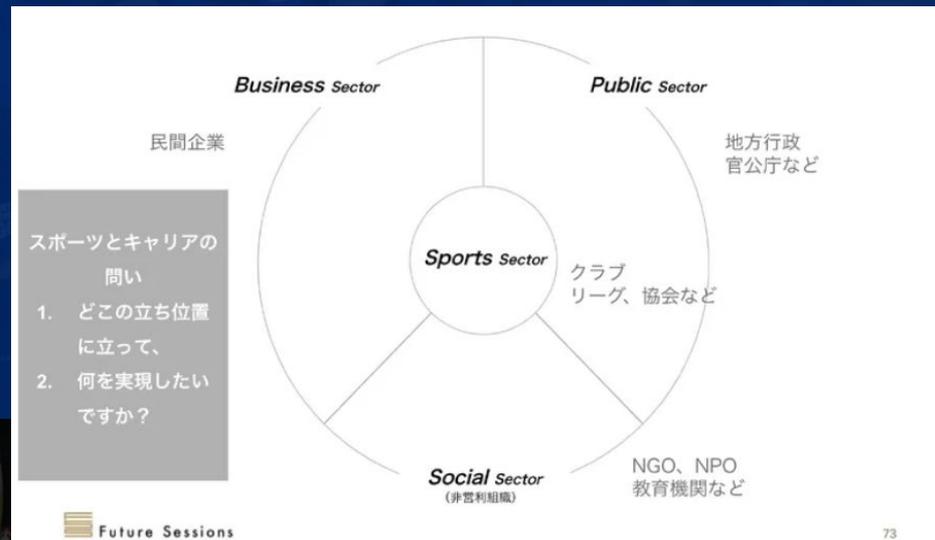
最近はSlackなどのチャットベースで
仕事をすることも増えていると思いますが
いきなり半分知らない人同士で
スペース作られてもみんな牽制しあって
コメント欄が賑わない...



GBAで学んだ中にもありましたが
みんなそれぞれの立場で
それぞれのsectorで働いてる

どの立ち位置に立って
何を表現したいのか？

それぞれのsectorを
繋ぎあう役目が必要



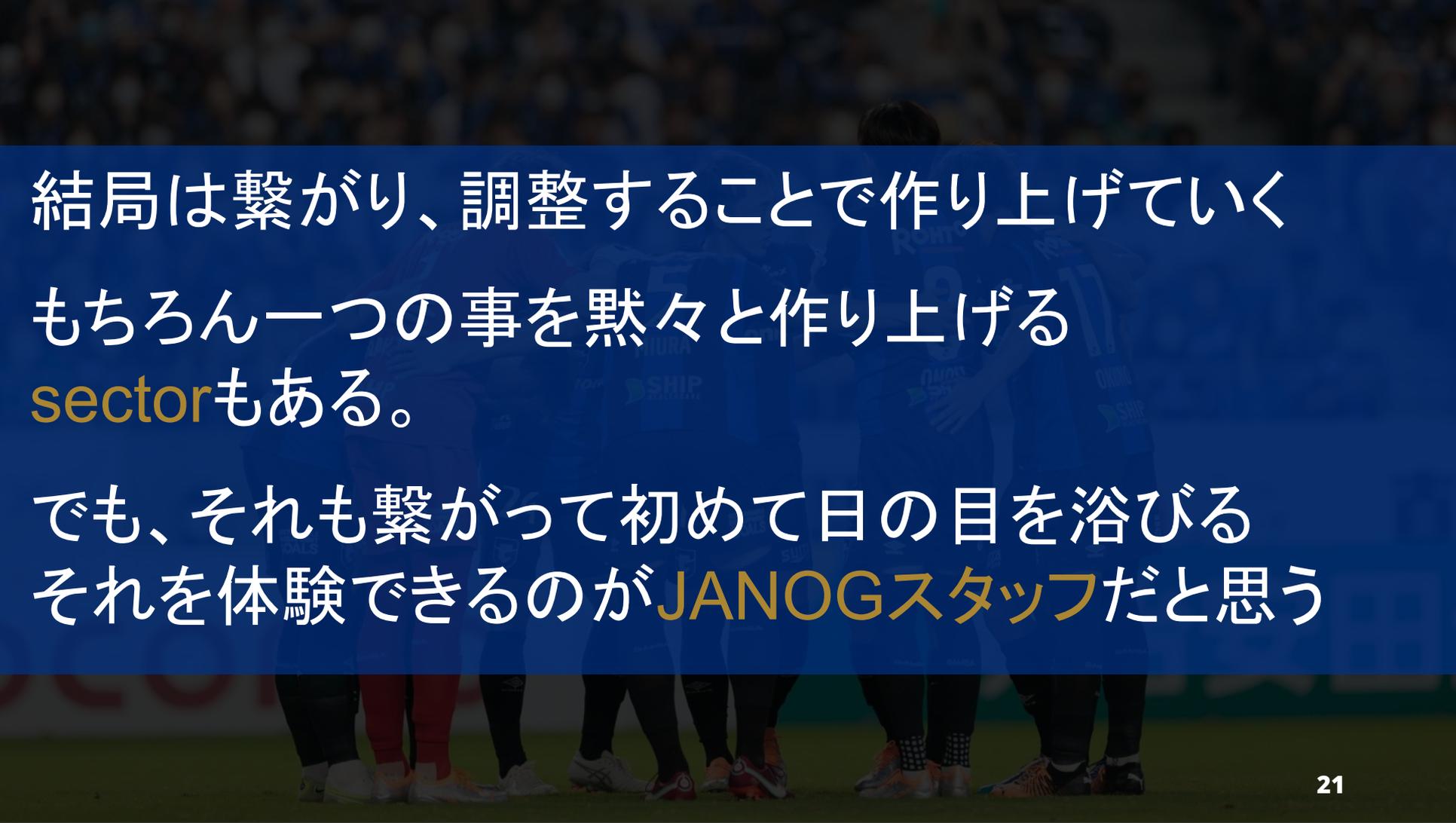
そこで人と人を繋げるのが好きな自分は
JANOGスタッフで培ったコミュ力で
どんどんSlackにコメント入れていく。
するとだんだんSlackが賑わい
気が付けばチームのリーダーに任命されて
ガンバやスポンサーと調整していました。

GBAで行った実施企画もJANOGスタッフやネットワークに置き換えてみると。。。

GBA	JANOG	ネットワーク
企画	JANOG●●	案件
ガンバ	ホスト	接続先
スタジアム	会場	利用場所
実施日	期間	納期
スポンサー	協賛	協業、ピア
観客	参加者	E/U、利用者



そう本質は同じ



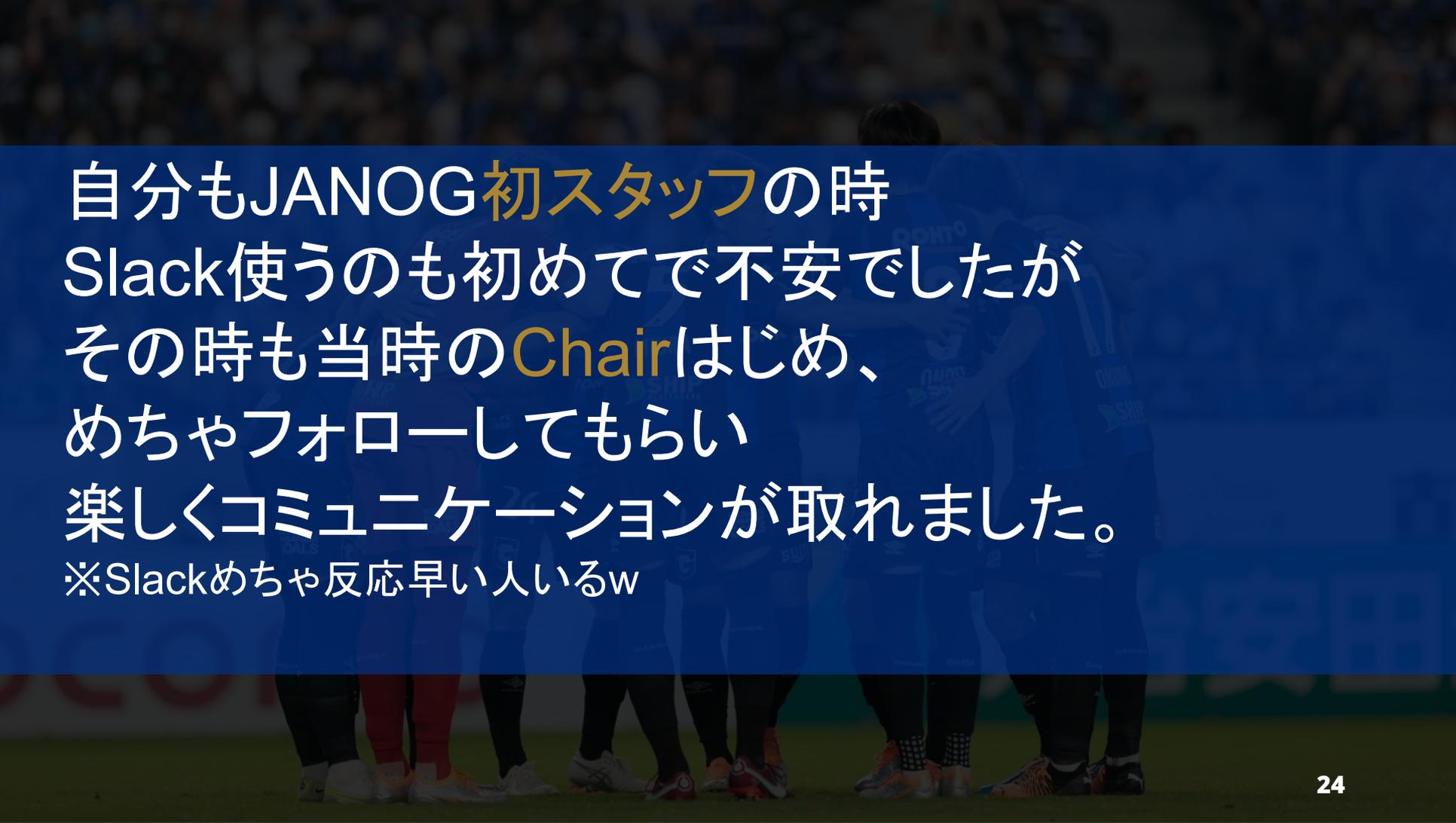
結局は繋がりに、調整することで作り上げていく
もちろん一つの事を黙々と作り上げる
sectorもある。

でも、それも繋がって初めて日の目を浴びる
それを体験できるのがJANOGスタッフだと思う

まとめ

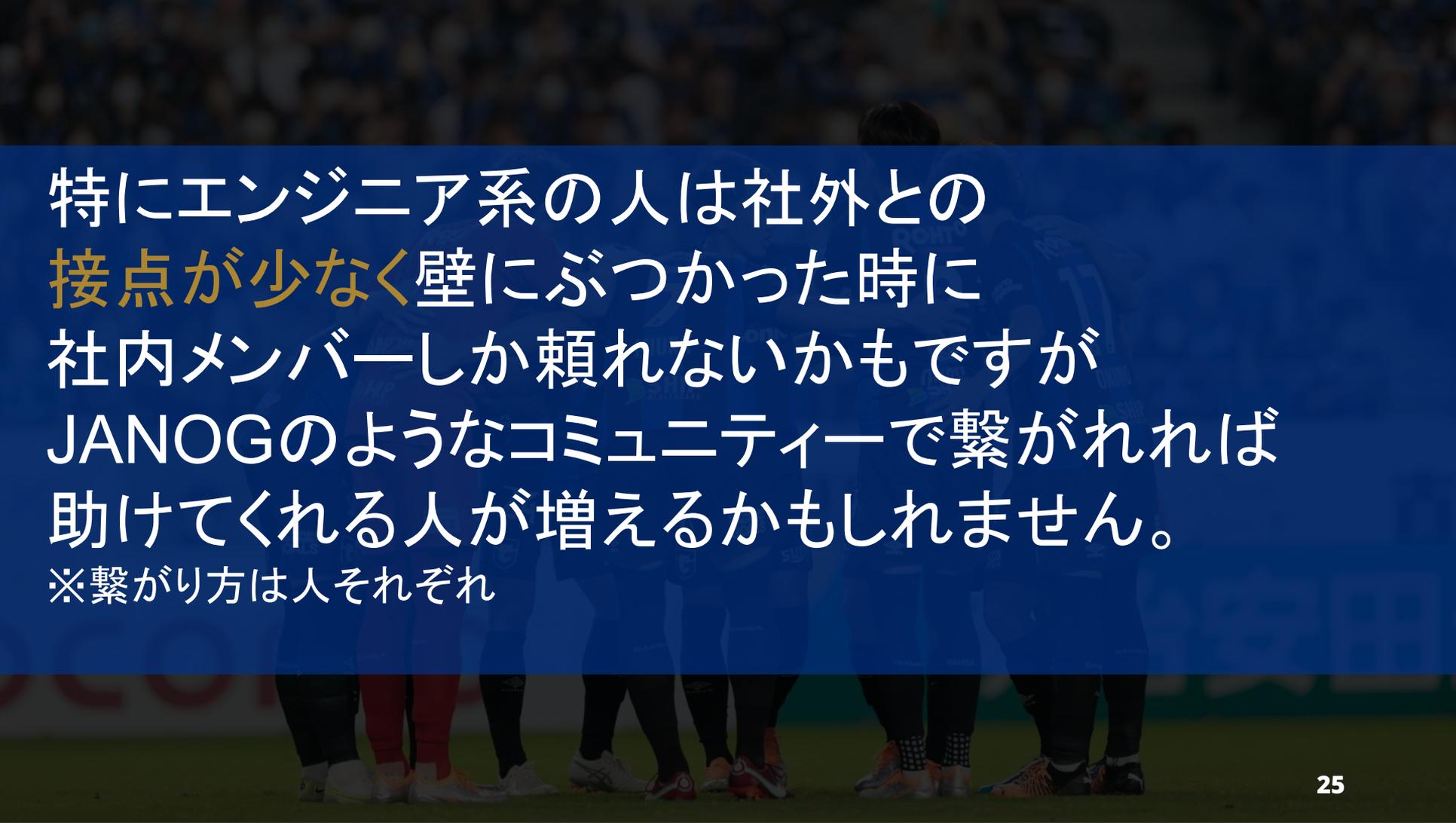


- 自分は人と人(**sector**)を繋げる事が好き
- ネットワークもピアリングもビジネスも
繋がりがあうことが大事
- JANOGは繋がりがあうのに最適な場所
(特に若い子にはみんな優しい)
- 一番手っ取り早いのが
JANOGスタッフをやってみる！



自分もJANOG初スタッフの時
Slack使うのも初めてで不安でしたが
その時も当時のChairはじめ、
めっちゃフォローしてもらい
楽しくコミュニケーションが取れました。

※Slackめっちゃ反応早い人いるw



特にエンジニア系の方は社外との
接点が少なく壁にぶつかった時に
社内メンバーしか頼れないかもですが
JANOGのようなコミュニティで繋がれば
助けてくれる人が増えるかもしれません。

※繋がり方は人それぞれ

最後に



- ・JANOGスタッフにかんしては
近くにいるJANOGスタッフに聞いてみよう

- ・GBAの詳細は以下GBAのページから

<https://www.gamba-osaka.net/c/business-academy/index.html>

- ・座学やイベント内容は以下noteの記事で

<https://note.com/gbaofficial>

- ・もっと詳細を聞きたいという方は...



ご清聴ありがとうございました